

ふるさと探訪

第78回 港 橋



港橋は、大正10（1921）年に竣工した、橋長20・6m、幅員9・2mの鉄筋コンクリート橋です。

東予港（西条地区）や（株）ラレ西条事業所など臨海部への主要ルートに架かるこの橋



この橋によって多くの人と物が運ばれ続けています



は、高度経済成長期における地域経済の発展を文字どおり支え続けてきましたが、建設後90年を経た今も、その存在の重要性は何ら変わりません。ただ、平成14年度に施された補修工事で往時の華やかさを取り戻した姿は、実際の橋齡よりずっと若く見えます。橋げたから高欄にかけての意匠は、港橋完成の2年後に発生した関東大震災の、復興橋の一つとして皇居近くに築かれた竹橋と良く似ており、その装飾性は非常に豊かです。（社）土木学会による「現存する重要な土木構造物2800選」に数えられた近代土木遺

西日を浴びて伸びた高欄の影よりも長い歴史をこの場所で刻んでいる港橋



産は、市内に9件存在します。このコーナーでは、今回の港橋でそのうちの7施設を紹介したことになります。

〔参考文献〕

（財）えひめ地域政策研究センター発行「愛媛温故紀行」

